

平成28年4～6月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業（個人経営の事業所）の業況判断D I

① 今期の業況判断

今期（平成28年4～6月期）の業況判断D Iは (-)61.9 で、前期（平成28年1～3月期）(-62.8)に比べ、0.9ポイントの改善。

② 来期の見通し

来期（平成28年7～9月期）の業況見通しD Iは (-)60.8 で、今期の業況判断(-61.9)に比べ、1.1ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 — 調査産業計 —

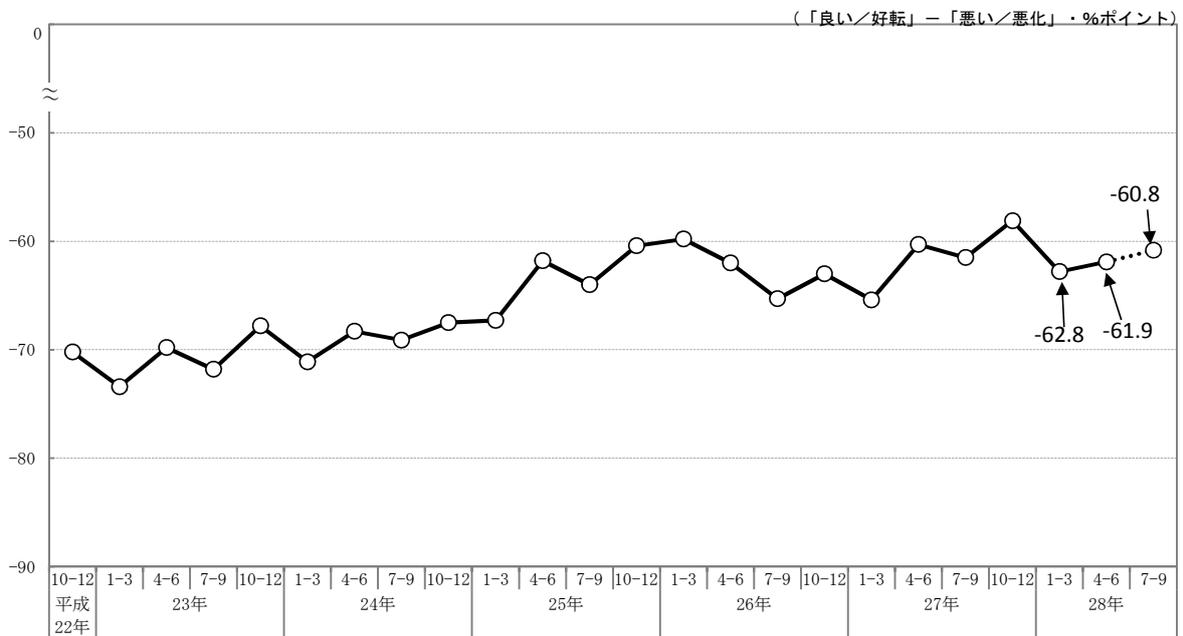


表1 業況判断の割合 — 調査産業計 —

	平成27年			28年		
	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期 見通し
今期の業況, 来期の業況 (%)						
良い/好転	3.5	4.0	4.2	3.6	3.4	2.9
普通/不変	32.7	30.4	33.5	30.1	31.3	33.5
悪い/悪化	63.8	65.5	62.3	66.4	65.3	63.7
D I	-60.3	-61.5	-58.1	-62.8	-61.9	-60.8

参考	調査産業計					
	日銀短観(大企業)	日銀短観(全企業)	中小企業景況調査(全企業)	日銀短観(大企業)	日銀短観(全企業)	中小企業景況調査(全企業)
	19	19	18	13	12	12
	-24.6	-24.7	-22.9	-29.0	-27.0	-17.3

(注) 「中小企業景況調査」：(独)中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成28年7月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	216万5000円で、前年同期に比べ、12.2%の減少
□「卸売業、小売業」は	365万9000円で、前年同期に比べ、1.9%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	208万4000円で、前年同期に比べ、3.0%の減少
□「サービス業」は	115万6000円で、前年同期に比べ、12.9%の減少
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	61万3000円で、前年同期に比べ、8.9%の減少
□「卸売業、小売業」は	33万円で、前年同期に比べ、22.9%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	36万6000円で、前年同期に比べ、0.3%の増加
□「サービス業」は	42万1000円で、前年同期に比べ、10.2%の減少

※前年同期(平成27年4～6月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

(1事業所当たり)

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業		
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
実数 (千円)	平成26年	4～6月期	2,131	613	3,981	431	2,154	402	1,210	456
		7～9月期	2,314	626	4,146	370	2,168	420	1,230	433
		10～12月期	2,444	658	4,384	511	2,150	422	1,301	480
	平成27年	1～3月期	2,182	595	3,601	394	2,042	373	1,227	395
		4～6月期	2,466	673	3,729	428	2,148	365	1,327	469
		7～9月期	2,310	675	3,609	366	2,203	368	1,215	446
	平成28年	10～12月期	2,379	644	4,065	484	2,312	470	1,285	471
		1～3月期	2,293	685	3,566	353	2,253	418	1,134	379
		4～6月期	2,165	613	3,659	330	2,084	366	1,156	421
	前年同期比 (%)	平成26年	4～6月期	-2.4	-2.7	1.2	8.3	3.2	-5.2	-13.9
7～9月期			9.2	-3.8	4.5	-17.0	0.5	-3.0	-3.5	-0.9
10～12月期			-1.2	-2.7	0.2	15.9	-4.4	3.9	2.1	7.1
平成27年		1～3月期	-4.8	-9.0	-10.1	-14.9	1.2	9.4	11.3	12.2
		4～6月期	15.7	9.8	-6.3	-0.7	-0.3	-9.2	9.7	2.9
		7～9月期	-0.2	7.8	-13.0	-1.1	1.6	-12.4	-1.2	3.0
平成28年		10～12月期	-2.7	-2.1	-7.3	-5.3	7.5	11.4	-1.2	-1.9
		1～3月期	5.1	15.1	-1.0	-10.4	10.3	12.1	-7.6	-4.1
		4～6月期	-12.2	-8.9	-1.9	-22.9	-3.0	0.3	-12.9	-10.2

3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	5万3000円で、前年同期(14万8000円)に比べ、減少
□「卸売業、小売業」は	7万4000円で、前年同期(7万9000円)に比べ、減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	6万6000円で、前年同期(8万2000円)に比べ、減少
□「サービス業」は	5万円で、前年同期(4万7000円)に比べ、増加
② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、	
□「製造業」は	2.4%で、前年同期(6.0%)に比べ、3.6ポイントの低下
□「卸売業、小売業」は	2.0%で、前年同期(2.1%)に比べ、0.1ポイントの低下
□「宿泊業、飲食サービス業」は	3.2%で、前年同期(3.8%)に比べ、0.6ポイントの低下
□「サービス業」は	4.3%で、前年同期(3.5%)に比べ、0.8ポイントの上昇

※前年同期(平成27年4～6月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

(1事業所当たり)

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成26年	4～6月期	85	4.0	68	1.7	45	2.1	75	6.2
	7～9月期	104	4.5	85	2.1	77	3.6	40	3.3
	10～12月期	78	3.2	89	2.0	118	5.5	43	3.3
平成27年	1～3月期	111	5.1	109	3.0	47	2.3	37	3.0
	4～6月期	148	6.0	79	2.1	82	3.8	47	3.5
	7～9月期	135	5.8	86	2.4	159	7.2	57	4.7
平成28年	10～12月期	93	3.9	81	2.0	62	2.7	71	5.5
	1～3月期	70	3.1	53	1.5	55	2.4	72	6.3
	4～6月期	53	2.4	74	2.0	66	3.2	50	4.3

Ⅱ 業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年4～6月期）の業況判断D Iは（-）61.9で、前期（平成28年1～3月期）（-62.8）に比べ、0.9ポイント改善した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは（-）46.1で、前期（-53.5）に比べ、7.4ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成27年4～6月期）と比較した業況判断D Iは（-）56.0で、前期（-51.9）に比べ、4.1ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年7～9月期）の業況見通しD Iは（-）60.8で、今期の業況判断（-61.9）に比べ、1.1ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

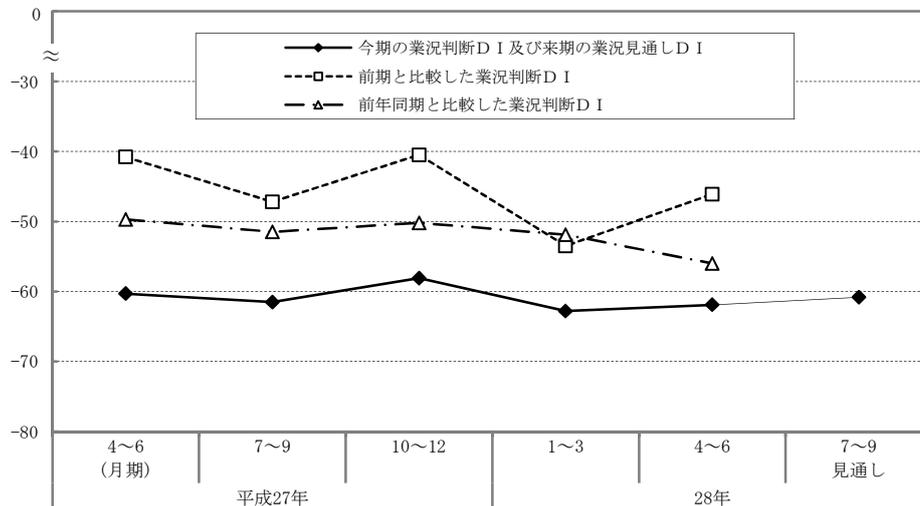
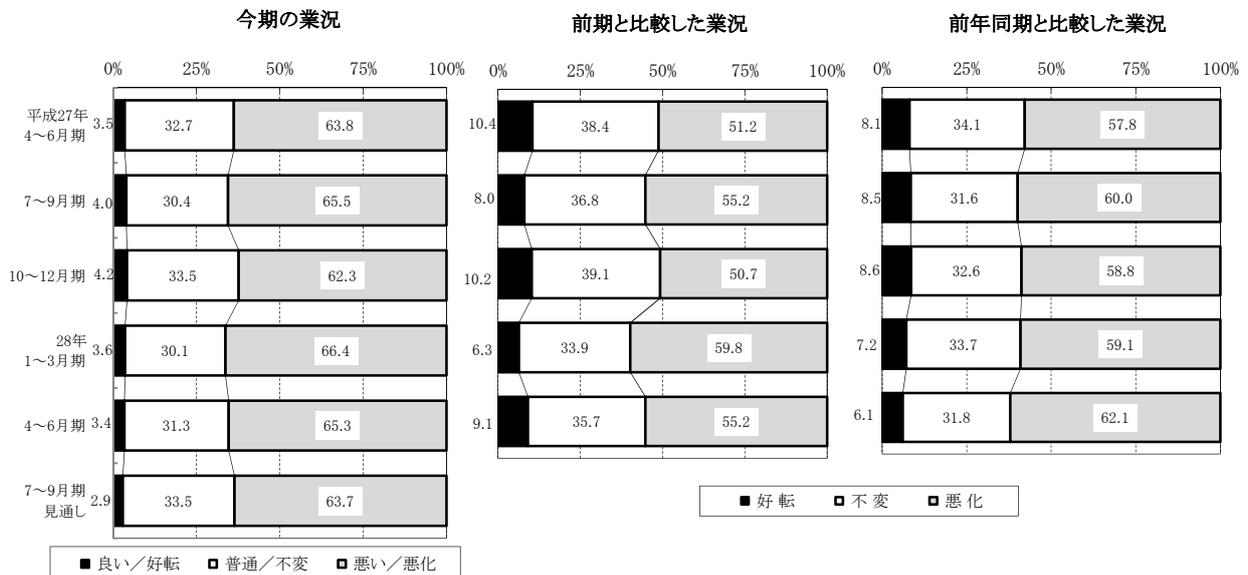


図3 業況判断の割合 —調査産業計—



(2) 売上の状況

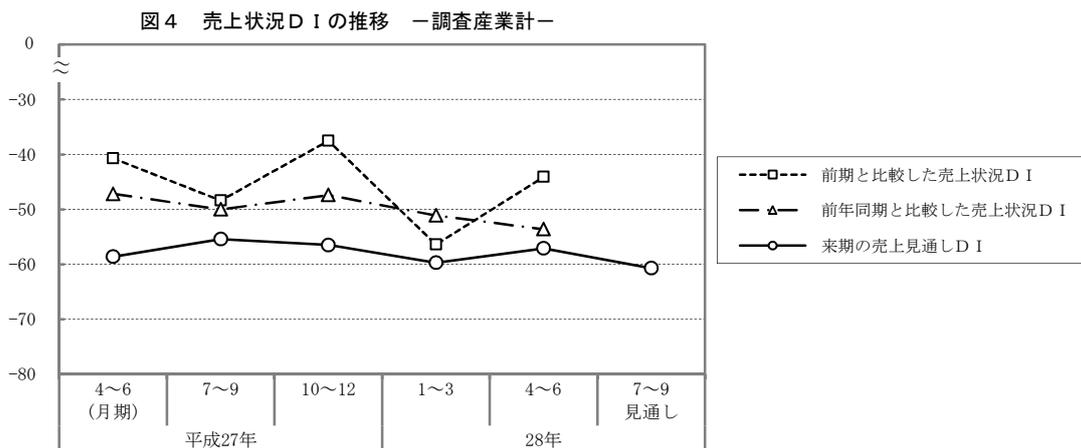
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは (-)44.1 で、前期 (-56.4) に比べ、12.3 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは (-)53.6 で、前期 (-51.1) に比べ、2.5 ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは (-)60.7 で、前期における今期の売上見通し (-57.1) に比べ、3.6 ポイントの悪化の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

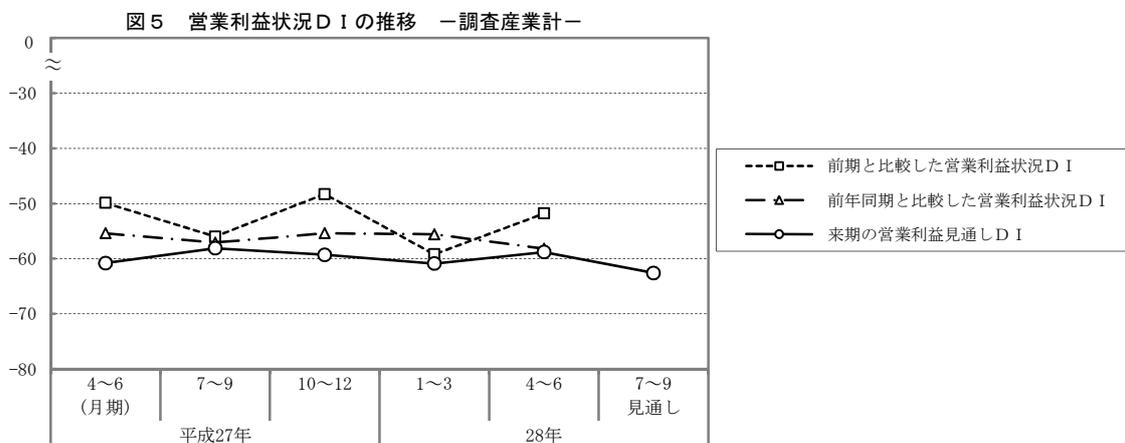
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)51.8 で、前期 (-59.2) に比べ、7.4 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)58.2 で、前期 (-55.6) に比べ、2.6 ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

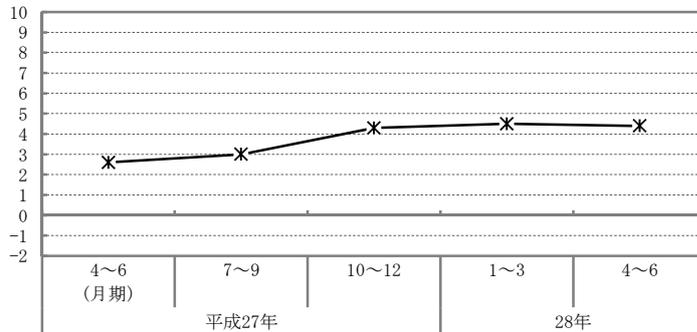
来期の営業利益見通しDIは (-)62.6 で、前期における今期の営業利益見通し (-58.8) に比べ、3.8 ポイントの悪化の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)4.4 で、前期 (+4.5) に比べ、0.1 ポイント「過剰」が縮小した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

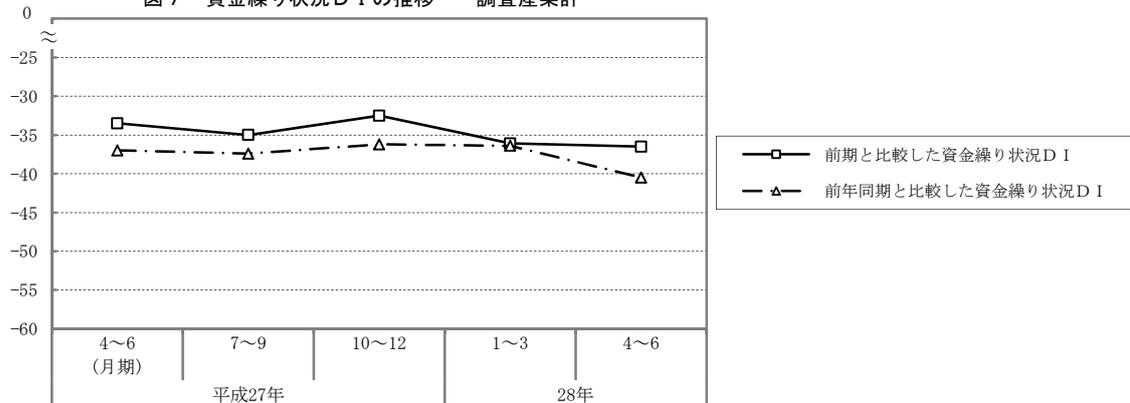


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)36.5 で、前期 (-36.1) に比べ、0.4 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)40.5 で、前期 (-36.4) に比べ、4.1 ポイント悪化した。

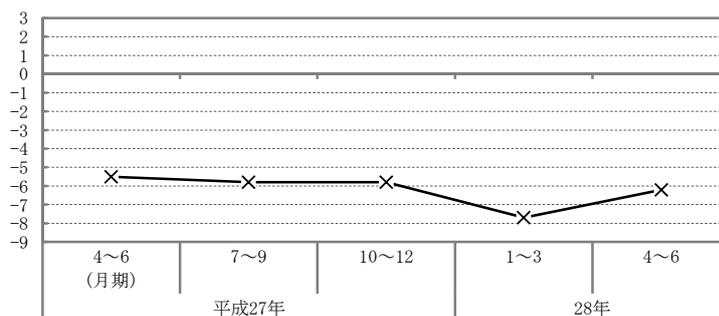
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.2 で、前期 (-7.7) に比べ、1.5 ポイント「不足」が縮小した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年4～6月期）の業況判断DIは(-)54.2で、前期（平成28年1～3月期）(-46.6)に比べ、7.6ポイント悪化した。

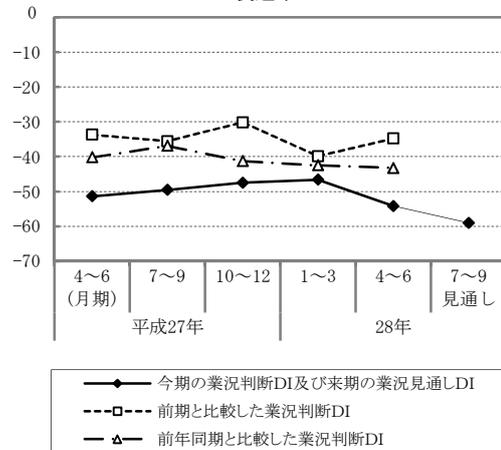
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)34.8で、前期(-39.9)に比べ、5.1ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成27年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)43.3で、前期(-42.5)に比べ、0.8ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年7～9月期）の業況見通しDIは(-)59.0で、今期の業況判断(-54.2)から、4.8ポイントの悪化の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

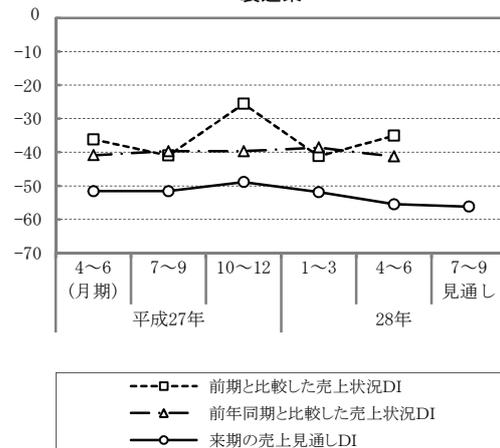
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)35.1で、前期(-41.2)に比べ、6.1ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)41.3で、前期(-38.6)に比べ、2.7ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)56.2で、前期における今期の売上見通し(-55.5)から、0.7ポイントの悪化の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

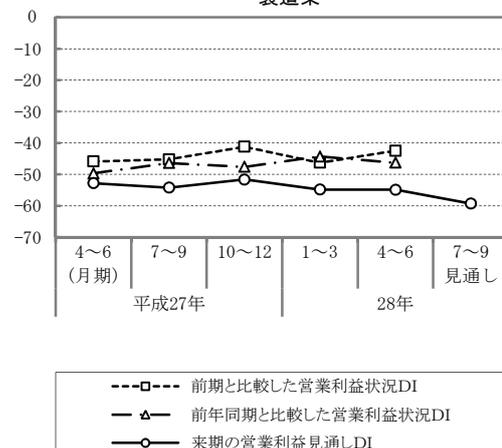
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)42.5で、前期(-46.3)に比べ、3.8ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)46.3で、前期(-44.3)に比べ、2.0ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)59.3で、前期における今期の営業利益見通し(-54.9)に比べ、4.4ポイントの悪化の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)5.7 で、前期 (+2.7) に比べ、3.0 ポイントト「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)28.6 で、前期 (-29.6) に比べ、1.0 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)33.5 で、前期 (-30.3) に比べ、3.2 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)5.2 で、前期 (-9.1) に比べ、3.9 ポイント「不足」が縮小した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

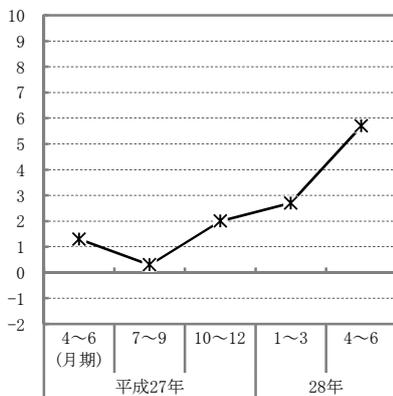


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

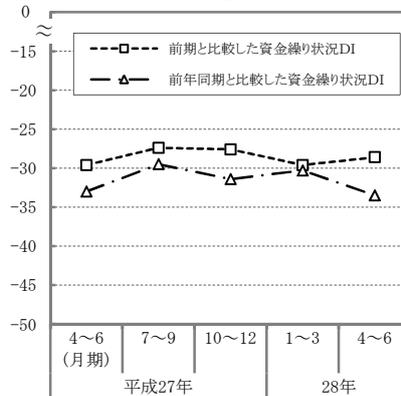
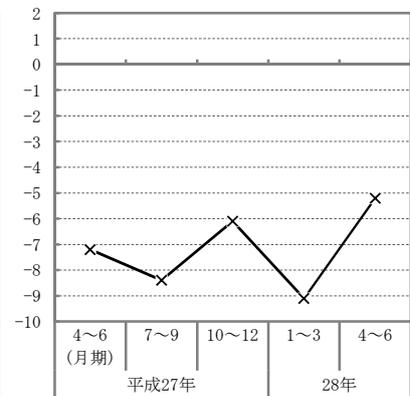


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



3 卸売業, 小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年4～6月期）の業況判断DIは (-)65.7 で、前期（平成28年1～3月期）(-67.0) に比べ、1.3 ポイント改善した。

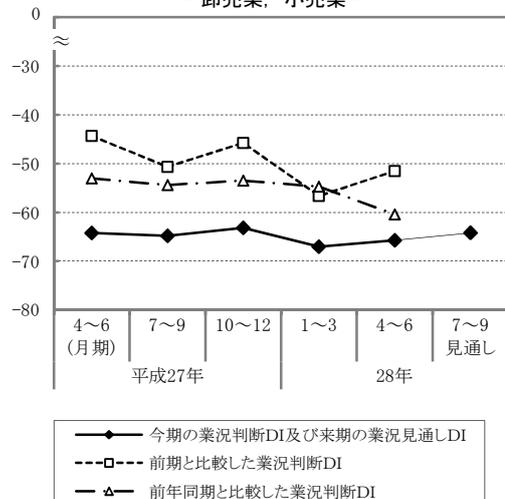
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)51.5 で、前期 (-56.6) に比べ、5.1 ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成27年4～6月期）と比較した業況判断DIは (-)60.4 で、前期 (-54.7) に比べ、5.7 ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年7～9月期）の業況見通しDIは (-)64.2 で、今期の業況判断(-65.7) に比べ、1.5 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業, 小売業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

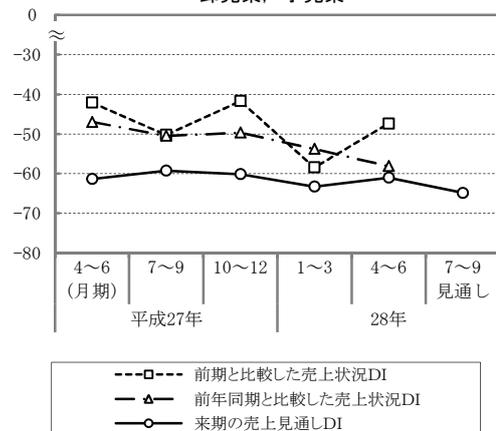
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)47.4で、前期(-58.5)に比べ、11.1ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)58.2で、前期(-53.8)に比べ、4.4ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)64.9で、前期における今期の売上見通し(-61.1)に比べ、3.8ポイントの悪化の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

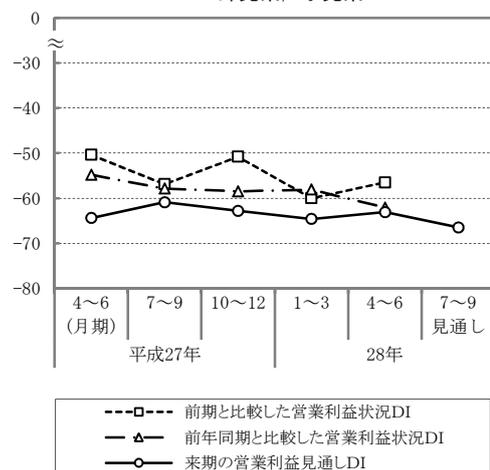
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)56.5で、前期(-60.0)に比べ、3.5ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)62.1で、前期(-58.1)に比べ、4.0ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)66.5で、前期における今期の営業利益見通し(-63.1)に比べ、3.4ポイントの悪化の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)6.5で、前期(+)7.8)に比べ、1.3ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)39.5で、前期(-38.9)に比べ、0.6ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)43.1で、前期(-38.7)に比べ、4.4ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)5.6で、前期(-6.6)に比べ、1.0ポイント「不足」が縮小した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業、小売業-

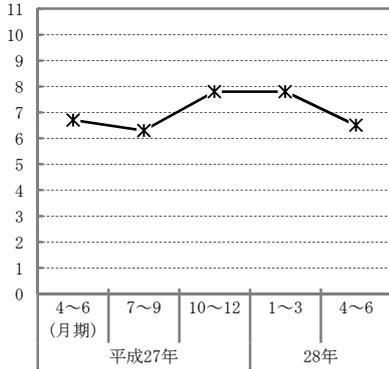


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業、小売業-

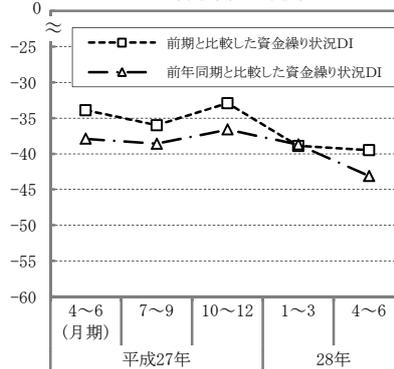
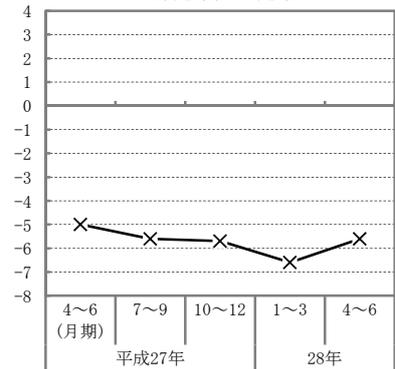


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業、小売業-



4 宿泊業、飲食サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年4～6月期）の業況判断DIは(-)60.1で、前期（平成28年1～3月期）(-55.6)に比べ、4.5ポイント悪化した。

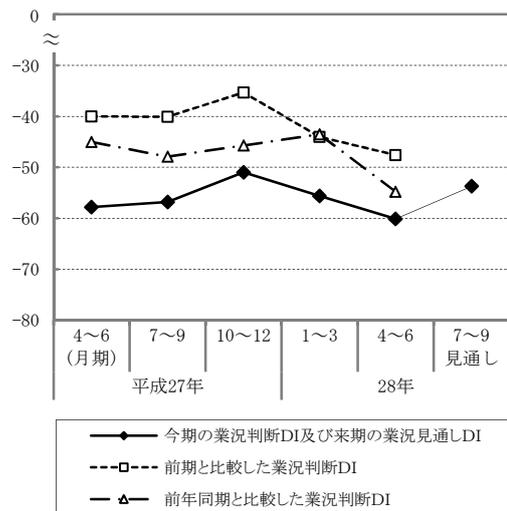
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)47.6で、前期(-44.0)に比べ、3.6ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成27年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)54.8で、前期(-43.5)に比べ、11.3ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年7～9月期）の業況見通しDIは(-)53.7で、今期の業況判断(-60.1)に比べ、6.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

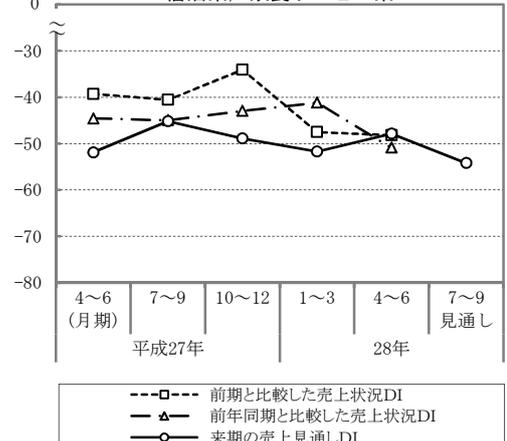
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)48.2で、前期(-47.5)に比べ、0.7ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)50.9で、前期(-41.2)に比べ、9.7ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)54.2で、前期における今期の売上見通し(-47.9)に比べ、6.3ポイントの悪化の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

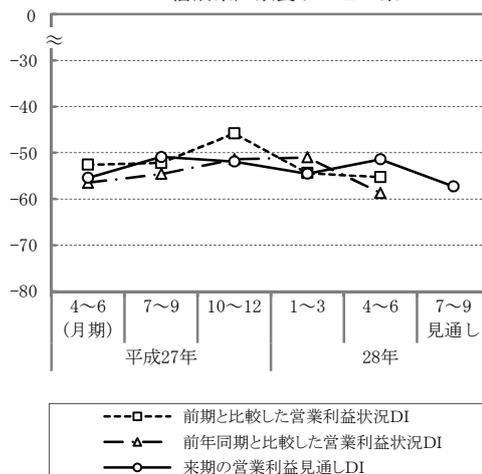
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)55.3で、前期(-54.4)に比べ、0.9ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)58.7で、前期(-51.0)に比べ、7.7ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)57.3で、前期における今期の営業利益見通し(-51.4)に比べ、5.9ポイントの悪化の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)1.3で、前期(+0.9)に比べ、0.4ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)40.2で、前期(-35.7)に比べ、4.5ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)43.3で、前期(-35.2)に比べ、8.1ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)10.0で、前期(-11.9)に比べ、1.9ポイント「不足」が縮小した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

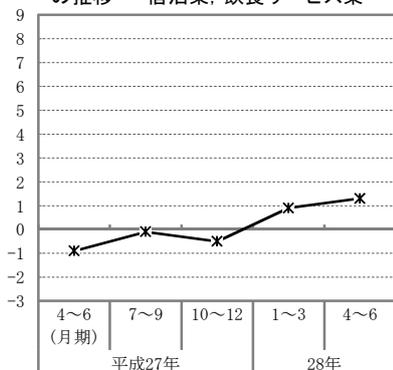


図25 資金繰り状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

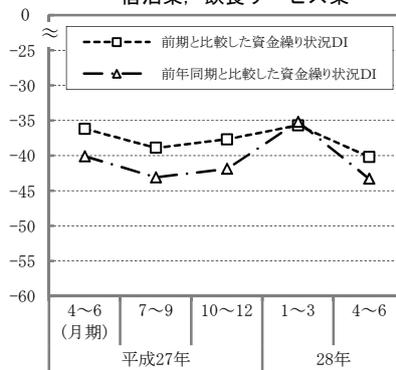
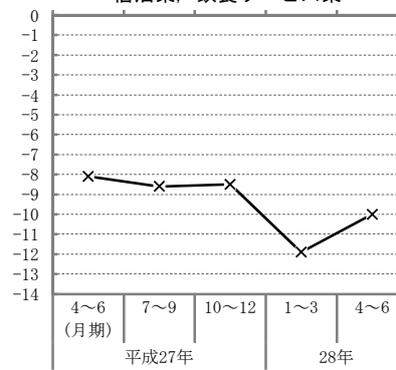


図26 雇用状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



5 サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年4～6月期）の業況判断DIは(-)60.8で、前期（平成28年1～3月期）(-69.7)に比べ、8.9ポイント改善した。

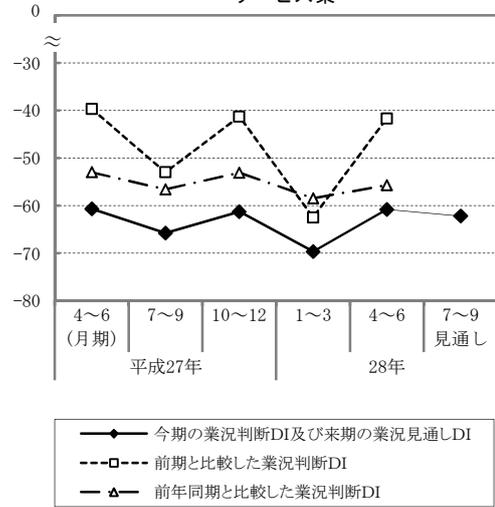
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)41.7で、前期(-62.5)に比べ、20.8ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成27年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)55.7で、前期(-58.5)に比べ、2.8ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年7～9月期）の業況見通しDIは(-)62.2で、今期の業況判断(-60.8)に比べ、1.4ポイントの悪化の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移
—サービス業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

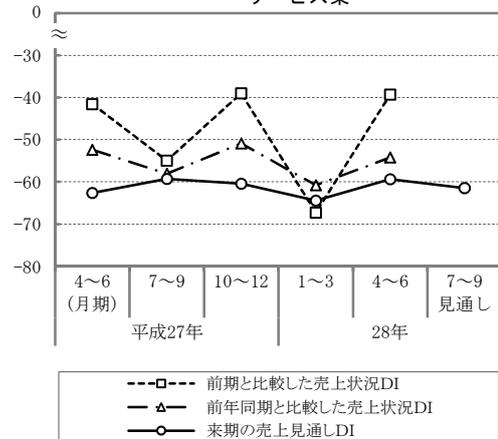
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)39.3で、前期(-67.3)に比べ、28.0ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)54.2で、前期(-60.8)に比べ、6.6ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)61.5で、前期における今期の売上見通し(-59.4)に比べ、2.1ポイントの悪化の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移
—サービス業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

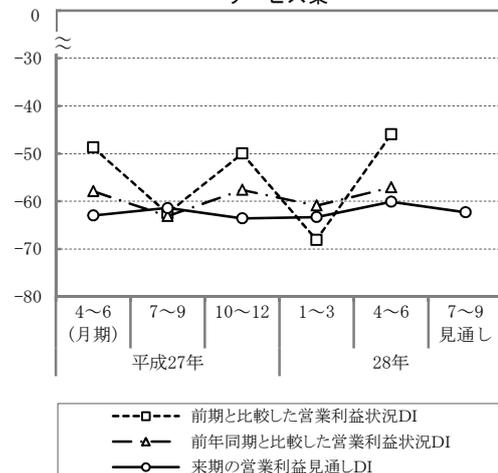
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)46.0で、前期(-68.1)に比べ、22.1ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)57.1で、前期(-60.9)に比べ、3.8ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)62.3で、前期における今期の営業利益見通し(-60.1)に比べ、2.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移
—サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+) 3.4 で、前期(+ 3.0)に比べ、 0.4 ポイント「過剰」が拡大した。

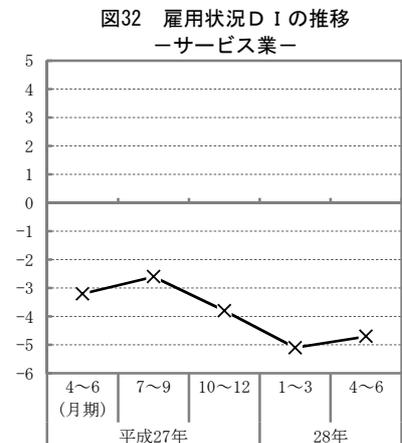
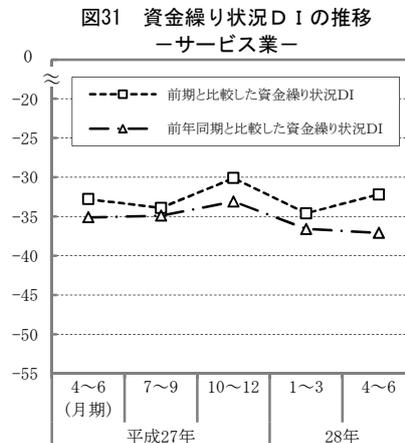
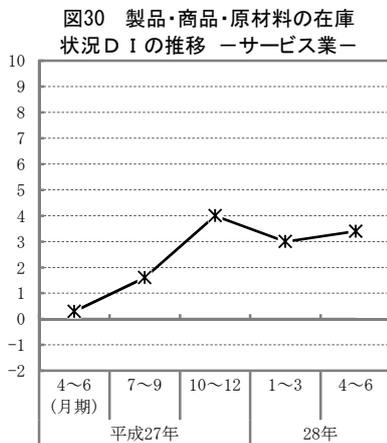
(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-) 32.2 で、前期(- 34.6)に比べ、 2.4 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-) 37.1 で、前期(- 36.6)に比べ、 0.5 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-) 4.7 で、前期(- 5.1)に比べ、 0.4 ポイント「不足」が縮小した。



Ⅲ 営業収支

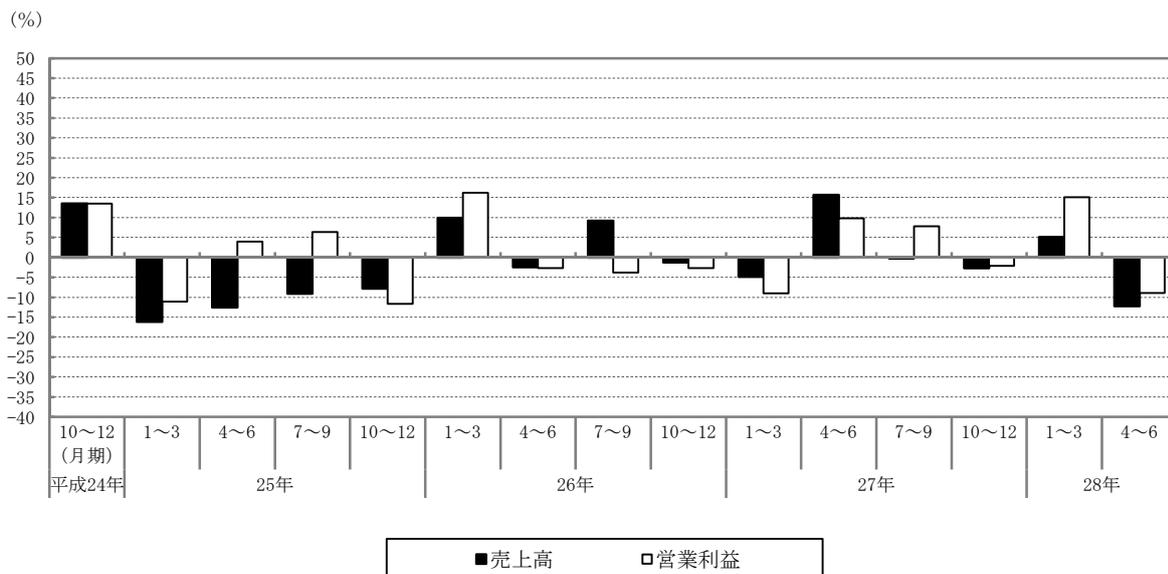
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は216万5000円で、これに対する費用は売上原価が70万7000円、営業費が84万5000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は61万3000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)12.2%で、2期ぶりに減少した。また、営業利益は(-)8.9%で、2期ぶりに減少した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 - 製造業 -

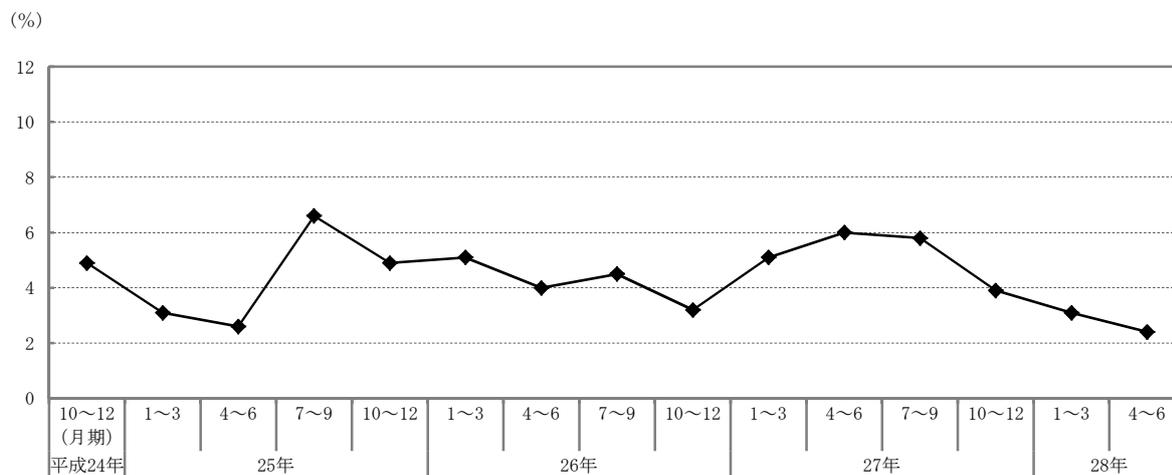


(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は5万3000円で、前年同期(14万8000円)を下回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は2.4%で、前年同期(6.0%)を3.6ポイント下回った。

図34 設備投資率の推移 - 製造業 -



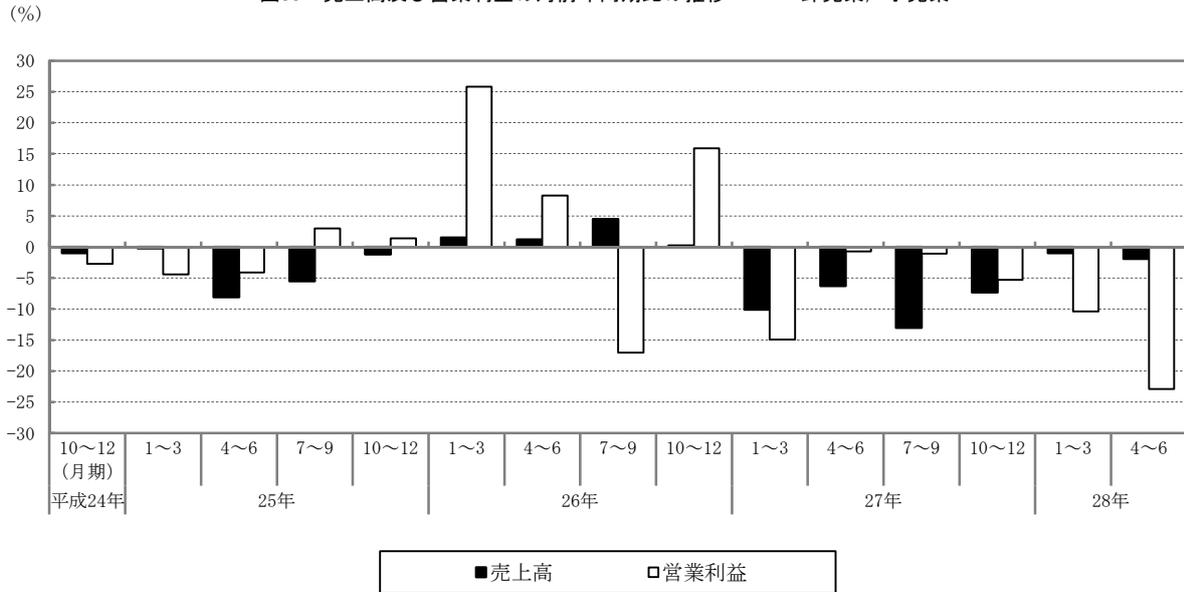
2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は365万9000円で、これに対する費用は売上原価が254万5000円、営業費が78万4000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は33万円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)1.9%で、6期連続で減少した。また、営業利益は(-)22.9%で、6期連続で減少した。

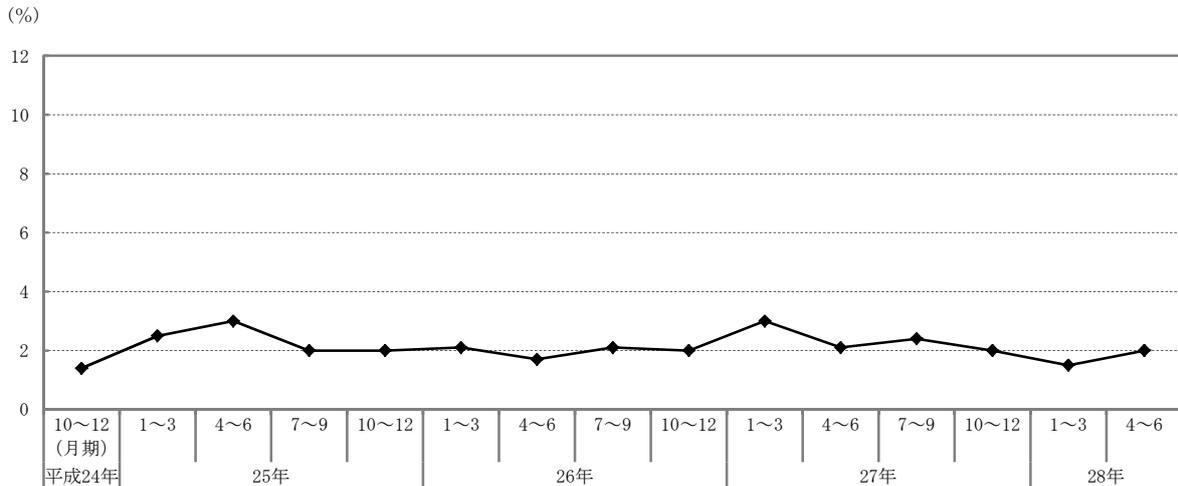
図35 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー卸売業、小売業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は7万4000円で、前年同期(7万9000円)を下回った。また、設備投資率は2.0%で、前年同期(2.1%)を0.1ポイント下回った。

図36 設備投資率の推移 ー卸売業、小売業ー



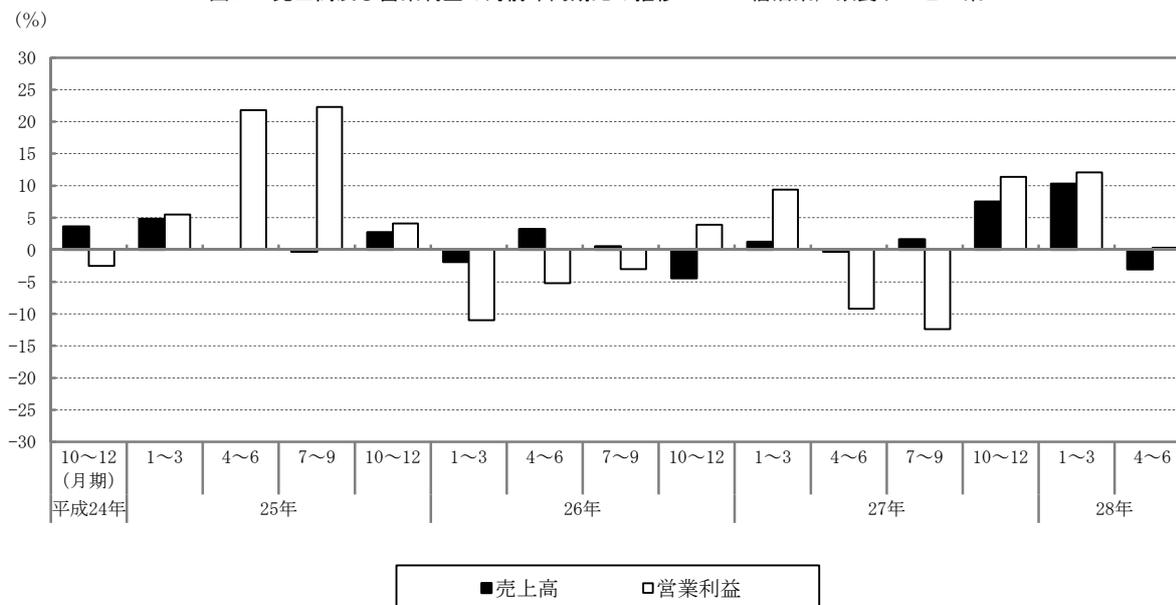
3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は208万4000円で、これに対する費用は売上原価が89万6000円、営業費が82万2000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は36万6000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)3.0%で、4期ぶりに減少した。また、営業利益は(+)0.3%で、3期連続で増加した。

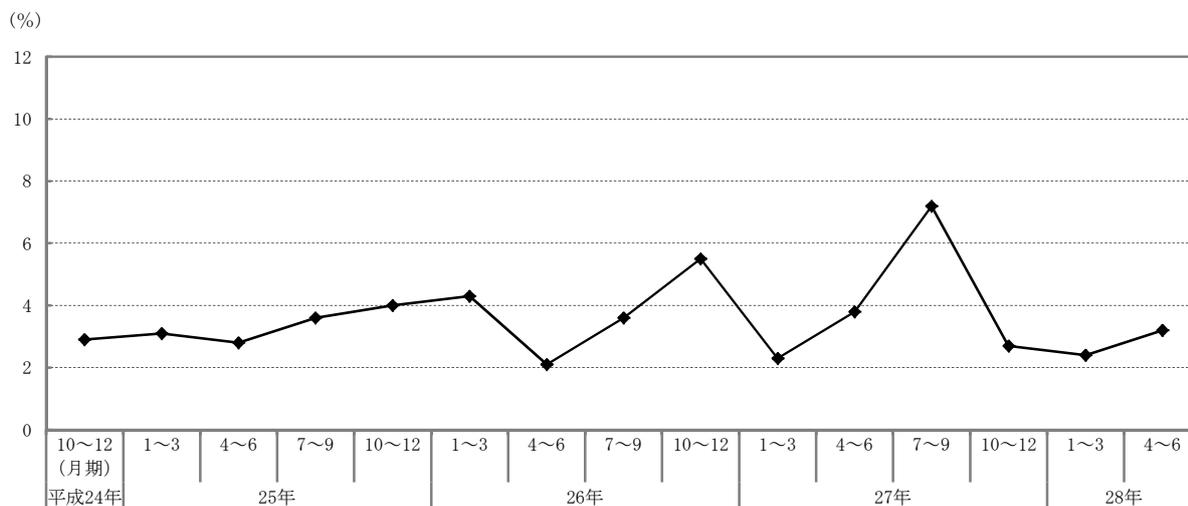
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は6万6000円で、前年同期(8万2000円)を下回った。また、設備投資率は3.2%で、前年同期(3.8%)を0.6ポイント下回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



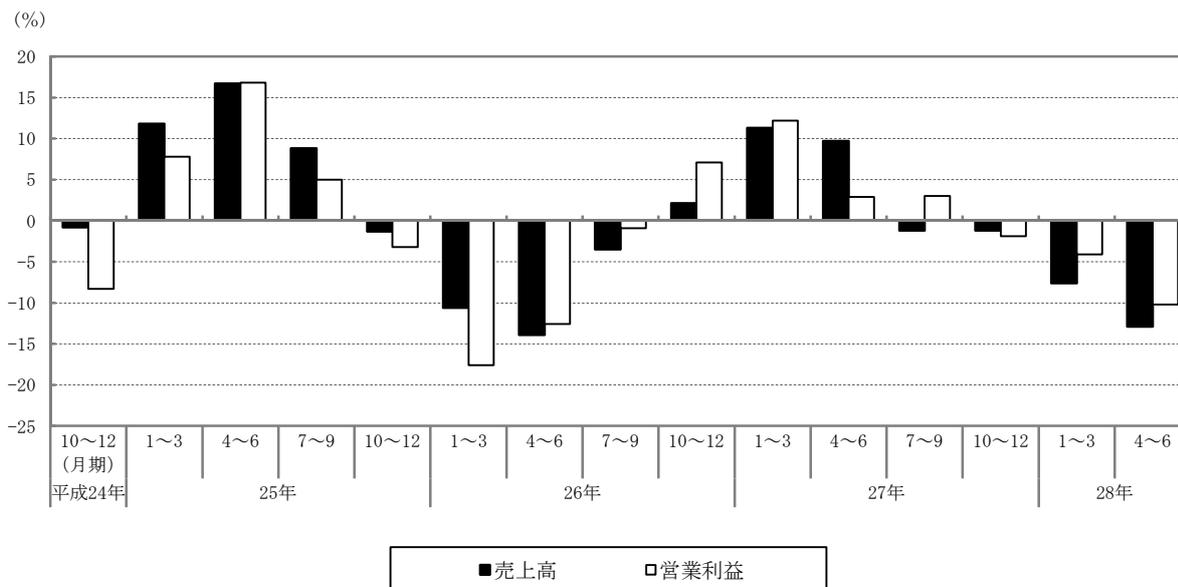
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は115万6000円で、これに対する費用は売上原価が19万1000円、営業費が54万4000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は42万1000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)12.9%で、4期連続で減少した。また、営業利益は(-)10.2%で、3期連続で減少した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 -サービス業-



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は5万円 で、前年同期(4万7000円)を上回った。また、設備投資率は4.3%で、前年同期(3.5%)を0.8ポイント上回った。

図40 設備投資率の推移 -サービス業-

